

自動車補修部品および  
産業車両部品を扱う専門商社

# SPK

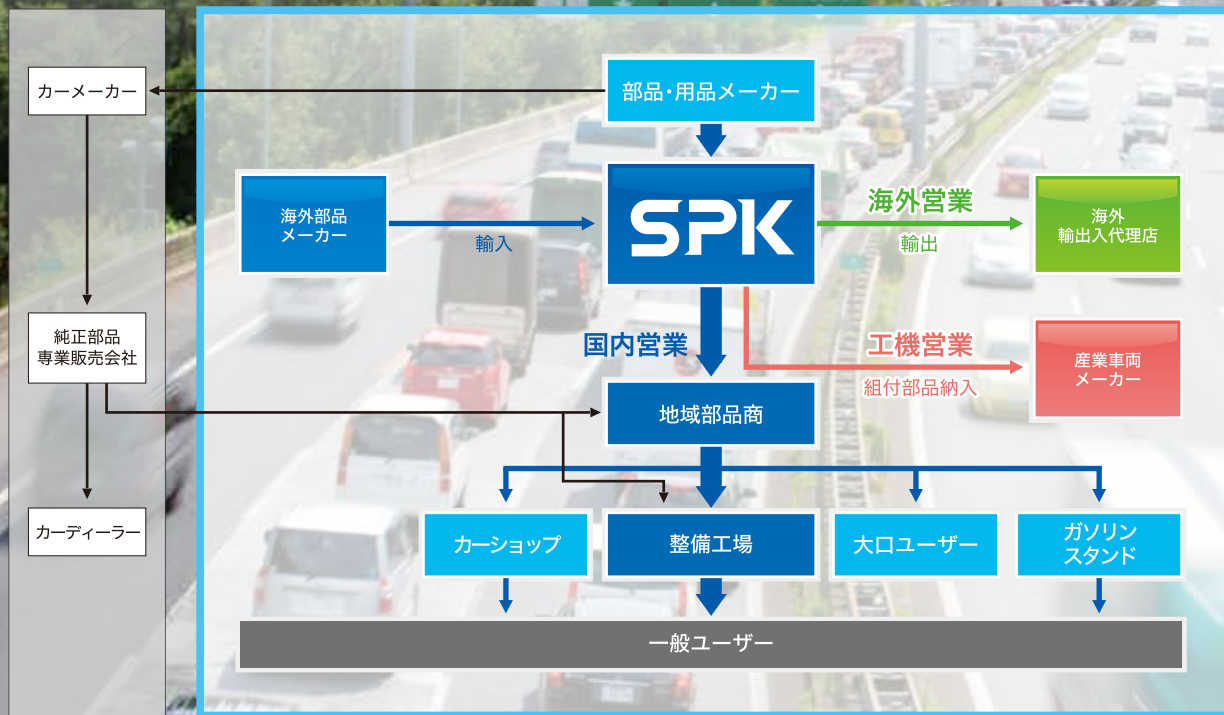
2014年10月30日・31日  
(於:大阪・東京)

## 第2四半期決算説明会速報

「持続する収益力」を強化し、株主重視の経営を実践。

**17期連続増配!**  
**今期59円配当** 予定

流通チャネルにおけるSPKのポジション



国内保有台数 **80,704千台** (2014年8月末現在)

17期連続増配という目標の実現に向け、今期も2円増配の年間配当59円を予定  
基本理念の遵守ならびに理念経営の実践により、「高配当の持続」を目指す。



代表取締役社長 轟 富和

**SPK**

社名のSPKの3文字は、当社の経営理念

誠実(Sincerity)に生き  
情熱(Passion)を持って仕事をし  
親切(Kindness)な対応ができる  
企業人の集団

をあらわしています

● 企業目的の達成に向けて

理念経営の実践と  
確かな中長期的視野で  
「豊かに永続する」ことを目指す

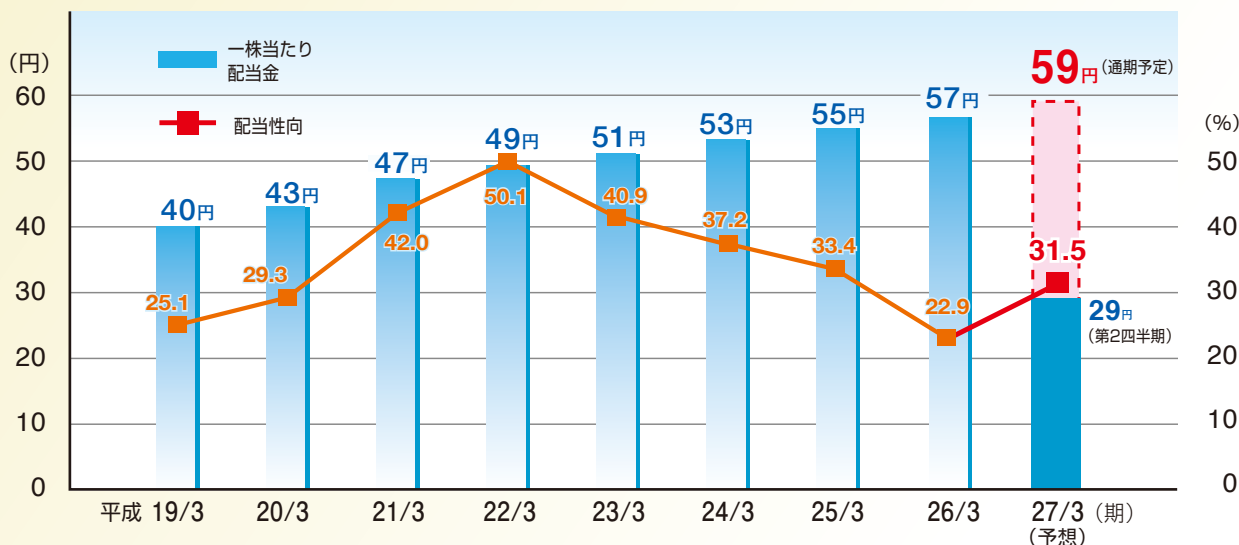
当社は「豊かに永続する」ことを企業目的に掲げております。この目的を実現すべく、2017年には100年を迎える社歴への尊崇と共に、すべてのステークホルダー様への感謝の気持ちを念頭に置き、「理念経営」を実践していきます。今後も、確かな中長期的視野に立った配当政策を実施、継続してまいります。

TOPICS

当期は2円増配となる  
通期59円配当により、  
17期連続増配の予定

当社は、「増配の継続」を重要な経営目標として掲げており、当第2四半期の配当金は1円増となる29円を実施。期末配当においても1円の増配を予定しており、通期2円の増配で年間配当は59円となる見込みです。この増配を実現することで、17期連続の増配の目指しています。

なおこの増配が実現すれば、平成11年3月期からの増配額は44円となります。



## ● 業 績

# 2014年問題に直面するも、全営業本部において増収増益

### 1. 売上高と利益 当第2四半期の連結業績は次の通りです。

売上高	18,323百万円	(前期比) 9.5%増↑
営業利益	730百万円	21.9%増↑
第2四半期純利益	471百万円	16.5%増↑

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、消費税の増税に伴う駆け込み需要の反動から景気回復が遅れ、内需の低迷や輸出の伸び悩みなどにより、新車販売台数も7月以降マイナスが続いております。加えて自動車部品の補修市場においては、2014年問題

(リーマンショックや東日本大震災などの影響を受け、2014年に車検台数が大幅減となる問題)もあり、補修部品業界全体が厳しい環境を余儀なくされました。こうした中、当グループの売上高は183億23百万円(前年同期比9.5%増)、利益面では、営業利益7億30百万円(同21.9%増)、経常利益7億59百万円(同19.1%増)、四半期純利益4億71百万円(同16.5%増)となり、厳しい環境の中でも堅実に前年同期比増収増益となりました。

#### 【国内営業本部】

従来通り地道な販売と共に、新規商材の開発・販売に努めました。加えて、連結子会社の谷川油化興業が業績に寄与した結果、売上高は97億74百万円となり、前期同期比5.5%の増収となりました。

#### 【海外営業本部】

安定した為替レートに支えられ、全体的に輸出が好調に推移。SPKシンガポールPTE.LTD.も堅調な業績を出すようになりました。その結果、売上高は前期同期比11.1%増の63億74百万円となりました。

#### 【工機営業本部】

円安による輸出の下支えもあり、当部門を支える主要3業界(建機・産機・納期)の車両生産及び出荷が概ね好調に推移。全体として前年を大きく上回る回復基調となりました。その結果、売上高は21億73百万円となり、前期比25.6%の増収となりました。

### 2. 株主資本の増加

総資産	18,372百万円
純資産	12,964百万円
自己資本比率	70.6%
純資産/株	¥2504.63

強固な財務基盤を確立しています。

(連結)

### 3. 平成27年3月期の業績予想

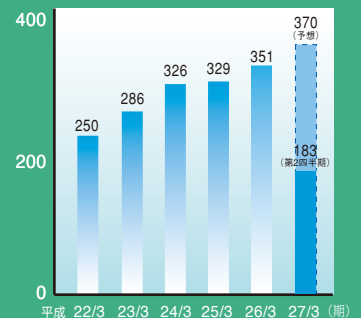
売上高	37,000百万円	(前期比) 5.2%増
営業利益	1,470百万円	4.3%増
経常利益	1,520百万円	2.5%増
当期純利益	970百万円	25.3%減

増収を見込んでいます。

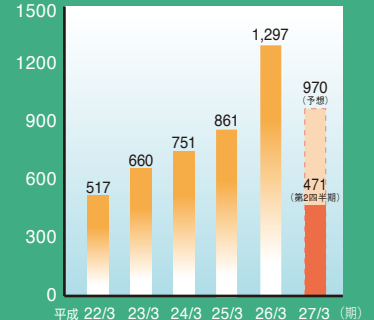
(連結)

## 連結業績の推移

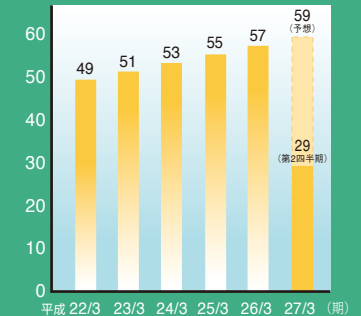
●売上高 (億円)



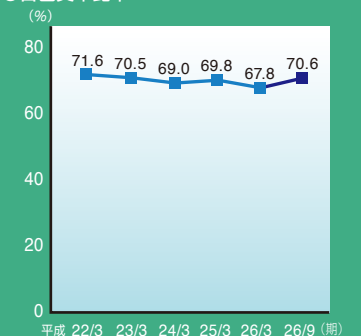
●当期純利益 (百万円)



●一株当たり配当金 (円)



●自己資本比率 (%)



## ● 営業基盤

### 国内、海外、工機の3営業本部制を展開

当社は、事業ドメインの異なる3つの営業本部を展開することで、独自の営業基盤を確立しています。

#### 国内営業本部

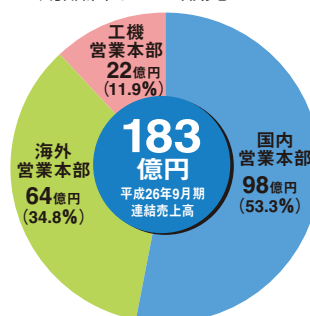
- 国内約8,000万台の国産車・外車を対象に、約4万点の補修部品・用品を取り扱い
- 全国16カ所の事業所を通じ、約1,000社の地域部品卸商・カー用品店などに販売
- 外車部品の調達など、海外からの輸入も積極的に展開

#### 海外営業本部

- 海外で走行している推定1億台の日本車を対象に、整備・補修部品や用品を世界80カ国に輸出
- 三国間貿易も積極的に推進

#### 工機営業本部

- 建設・産業機械メーカーや農業機械メーカーに、ミラーや各種スイッチなどの組付部品を供給



## 主要な連結経営指標の推移

決算	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
決算年月	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成26年9月期
売上高 (百万円)	28,554	32,605	32,981	35,183	18,323
売上総利益 (百万円)	4,183	4,674	4,843	5,062	2,739
営業利益 (百万円)	1,035	1,283	1,324	1,409	730
経常利益 (百万円)	1,125	1,340	1,409	1,482	759
当期純利益 (百万円)	660	751	861	1,297	471
資本金 (百万円)	898	898	898	898	898
発行済株式総数 (千株)	5,296	5,296	5,296	5,226	5,226
純資産 (百万円)	10,604	11,036	11,641	12,591	12,964
総資産 (百万円)	15,045	15,990	16,671	18,578	18,372
社員数 (人) (パート除く)	244	262	279	315	315
自己資本比率 (%)	70.5	69.0	69.8	67.8	70.6
一株当たり純資産 (円)	2,002.36	2,111.80	2,227.65	2,432.63	2504.63
一株当たり当期純利益 (円)	124.74	142.45	164.85	248.49	*187.40
一株当たり配当額 (円)	51	53	55	57	*59
(一株当たり第2四半期配当額) (円)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)
配当性向 (%)	40.9	37.2	33.4	22.9	*31.5
売上高総利益率 (%)	14.6	14.3	14.6	14.4	14.9
売上高営業利益率 (%)	3.6	3.9	4.0	4.0	4.0
売上高経常利益率 (%)	3.9	4.1	4.2	4.2	4.1
売上高当期純利益率 (%)	2.3	2.3	2.6	3.7	2.6
自己資本利益率 (%) (ROE)	6.3	6.9	7.6	10.7	7.4

\*: 通期予定数値です。

### SPK株式会社 [IR室]

〒553-0003 大阪市福島区福島5-5-4 TEL.06-6454-2578 FAX.06-6454-2494  
URL [http://www.spk.co.jp]

東証第一部 証券コード:7466